著作権に関する注意
本校の入試問題は著作権の対象となっており，著作権法で保護されています。
「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き，無断で複製・転用することはできません。
お　断　り
本校の入試問題中で引用した文章・文献等について，著作物保護の観点から一部掲載を控えた箇所があります。ご了承ください。

二〇二五（令和七）年度
東北学院中学校入学試験問題
〈前期３教科型〉

国　語

二〇二五（令和七）年一月七日（火）
九時～九時五十分（五〇分間）

注意事項

一．受験番号・氏名を解答用紙にはっきり記入してください。
二．答えは、すべて解答用紙に記入してください。
三．解答用紙だけを提出してください。

一

次の文章は、気象予報士の長谷部愛氏によって書かれたものです。これを読んで、後の問いに答えなさい。なお、問題の都合により、本文に一部変更を加えたところがあります。

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

（長谷部愛『天気でよみとく名画　フェルメールのち浮世絵、ときどきマンガ』）

問一　A ・ B に当てはまる言葉を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア　だから　　**イ**　だが　　**ウ**　さらに　　**エ**　あるいは　　**オ**　つまり　　**カ**　例えば

問二　――(1)「存在感」・――(2)「躍動感」とありますが、作品のどのような点について述べているのですか。解答らんに合わせて、それぞれ説明しなさい。

問三　本文を参考にして、浮世絵の中の人物にセリフを付けることにしました。吹き出しのⅠ～Ⅲにふさわしい言葉を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア　雨がしとしと降ってきた。春らしくなってきたな。

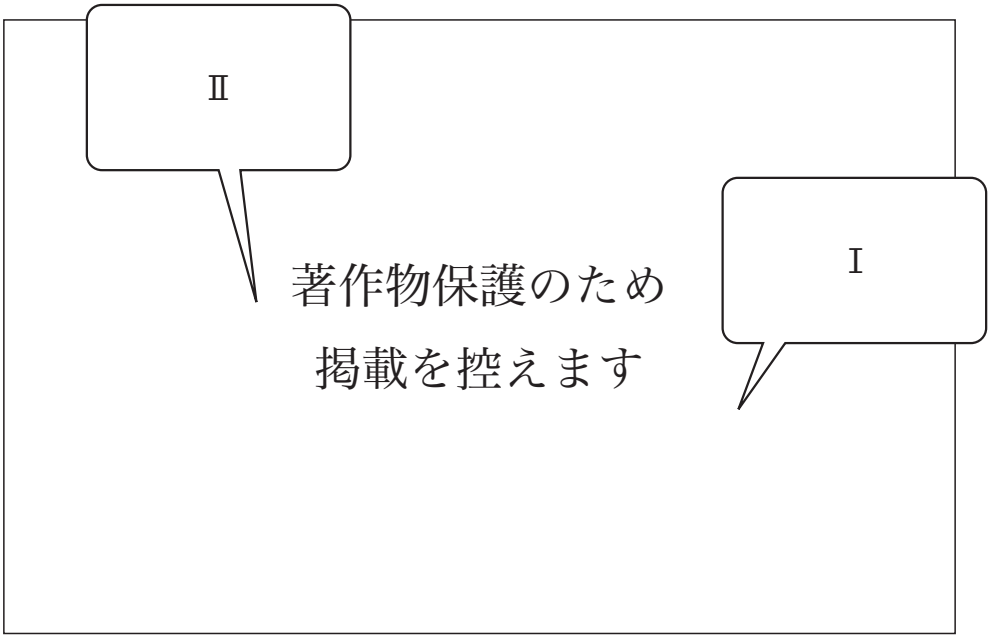
イ　空が暗くなってきたから、雨が降ると思っていたよ。

ウ　ここは夕立の多い場所だから、番傘を持ってきて良かった。

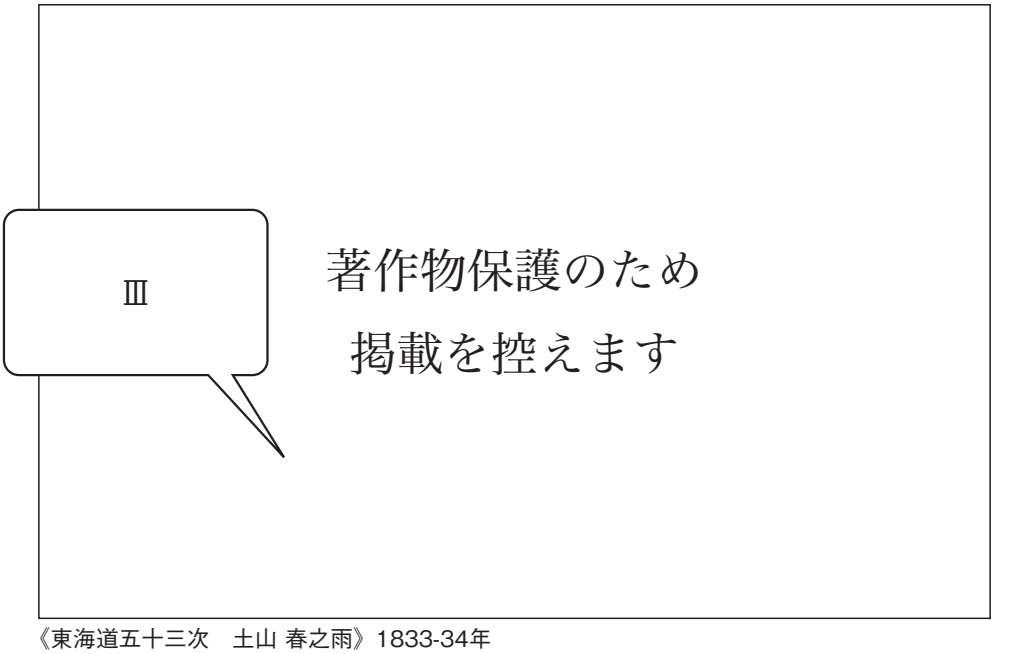
エ　急に降ってきておどろいたな。番傘が飛ばされてしまいそうだ。

オ　こんなに風が強いと、駕籠を担いで坂を下るのは大変だ。

カ　覆いがまくれたら、中のお客がずぶぬれで困るだろうな。



歌川広重《東海道五十三次　庄野 白雨》1833年頃



《東海道五十三次　土山 春之雨》1833-34年

問四　――(3)「水への信仰」とありますが、日本人が水を信仰するようになったのはなぜですか。理由を二つ、それぞれ二十字程度で書きなさい。句読点も字数にふくめるものとします。

問五　――(4)「季節の情感を持った表現」について、雨の名前とその季節の組み合わせとして正しいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　白雨……春
イ　春雨……冬
ウ　梅雨……秋
エ　緑雨……夏
オ　時雨……春

問六　――(5)「雨を楽しむ術」とありますが、日本人がそのような術を身に付けたのはなぜですか。それを説明した次の文の［　　］に入る表現を本文中から指定の字数で抜き出して答えなさい。句読点も字数にふくめるものとします。

［**①（十八字）**］日本の雨の特徴を捉え、［**②（二字）**］をのせて表現された雨を自身の思い出とリンクさせて鑑賞することで、［**③（十一字）**］ため。

二

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。なお、問題の都合により、本文に一部変更を加えたところがあります。

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

（青山美智子『月曜日の抹茶カフェ』）

問一　A　・　B　に当てはまる言葉を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア　ががや　　イ　ごうごう　　ウ　そよそよ
エ　よれよれ　　オ　つるつる　　カ　ざらざら

問二　――(1)「まんじりともできずにいた」の意味としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　じっと見つめることができなかった
イ　少しも動くことができなかった
ウ　少しもねむることができなかった
エ　何も手につかないでいた
オ　ぼんやりと考えることすらできなかった

問三　――(2)「おどろいた」とありますが、光都がこの時おどろいたのはなぜですか。三十字以上四十字以内で説明しなさい。句読点も字数にふくめるものとします。

問四　――(3)「ただでさえ心細い夜に、おばあちゃんはなんでこの話を選ぶんだろう」とありますが、おばあちゃんがこの話を選んだ理由として考えられるものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　かわいい孫に対し、何事も自分の力で乗り越えてほしいと伝えたかったから。
イ　ひどい目にあっている孫に、あんたは何も悪くないとなぐさめたかったから。
ウ　自分のことを心配してくれる孫に、自分はもう大丈夫だと知らせたかったから。
エ　孫がいつか遠くにいってしまうことを予感し、引き留めようとしているから。
オ　台風におびえる孫が情けなく、もっと強くなりなさいと説教しようとしたから。

問五　――(4)「私、もうおかしくて」とありますが、雪乃さんがおかしいと感じたのは、タヅさんのどのようなところですか。三十字以上四十字以内で説明しなさい。句読点も字数にふくめるものとします。

問六　――(5)「さっきとは違う温度の涙」について、その説明として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア　祖母と仲良くしたいと思っていたが、雪乃さんも苦労していることを知り、あきらめがついたということ。
イ　祖母に対する怒りで燃えていたが、祖母が年をとったことを実感し、気の毒に思うようになったということ。
ウ　祖母は自分のことを嫌っていると感じていたが、心配をかけていたことに気づき、申し訳なくなったということ。
エ　祖母とけんかしたときの苦しい思いが、祖母からの愛情を感じたことで、温かな思いに変わったということ。
オ　祖母に甘えたいという思いが、雪乃さんの話を聞いて、本当の気持ちかどうかわからなくなったということ。

問七　――(6)「小さく首を振る」という行動には、光都のどのような思いが表れていますか。その説明として最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　平安の中で生きているよだかと優しい雪乃さんの姿を重ね、自分も同じようになりたいという憧(あこが)れ。

イ　これまで祖母を冷たい人物だと思っていたが、その誤解をといてくれた雪乃さんに感謝する思い。

ウ　星になったよだかと違い、生きている自分はこれからも傷つくことがあるにちがいないというあきらめ。

エ　みんなを照らす存在になるために、眼の前にいる相手のためにできることをしようという熱い誓(ちか)い。

オ　自分のこれからの生き方を意識し、まずは枇杷を自分で剥くところから始めようという静かな決意。

三

①～⑤の――線部のカタカナを漢字に直し、⑥～⑩の――線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

① 荷物をトドける。
② チームが一回戦でヤブれる。
③ たんぽぽのワタゲが飛ぶ。
④ 要点をカンケツに説明する。
⑤ 出口が分からずウオウサオウする。
⑥ 大いに奮起して勉強する。
⑦ たいへんな値打ちのある絵。
⑧ かつて養蚕業がさかんだった。
⑨ 目上の人を敬う。
⑩ 額を集めて解決策を考える。